

美術科 年間指導計画

美術 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力、豊かな情操を培う。

3 学年 （年間 35 時間）

美術 第 3 学年の目標
①対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
②自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりできるようにする。
③主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

参照：中学校学習指導要領（平成 29 年告示）

月	単元名	指導内容	評価材料
4	・オリエンテーション 社会に生きる美術の力	・第 3 学年の美術について ・授業内容や評価について ・さまざまな角度から美術の役割を考える。	・授業の様子 ・ワークシート
5	・あの日を忘れない （鑑賞）	・絵に込められた表現の意図と創造的な工夫、社会における美術の力について考える。 ・形や色彩などが感情にもたらす効果や物の組み合わせや構図を基に全体のイメージや作風を捉える。	・アイデアスケッチ ・ワークシート （振り返り、鑑賞シート、ロイロノート含む）
6			
7	・わたし自身を見つめて （表現：絵 / 鑑賞）	・自分の姿を深く見つめ感じ取ったことや心の内面などを基に主題を生み出し、構図や表情の効果などを考え心豊かに表現する、 ・材料の特性をいかし、意図に応じて表現方法を創意工夫して表す。 ・作者の心情や表現の意図と創意工夫などについて考えるなど見方や考え方を深める鑑賞活動に取り組む。	・クロッキー帳 ・作品（制作過程含む） ・授業の様子 （発言、観察など）
9	・仏像の姿に見る人々の祈り（鑑賞）	・美術文化の継承と創造について考えながら鑑賞し、見方や感じ方を深める。 ・形や材料の性質、顔や手の表情など、仏像彫刻の美しさを感じ取り愛情を深める。	・定期考査
10	・思いを込めた卒業記念品 （表現：工芸・絵や彫刻など）	・構成や装飾の目的や条件を基に、使う場面や飾る場所、思いなどから主題を生み出し、洗練された美しさ等について考え構想を練る。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求する。 ・形や色彩、材料の質感などが感情にもたらす効果などを基に全体のイメージで捉えることを理解する。	
11			
12			
1		・伝える相手を想定し、目的や条件、なかみのイメージなどを基に主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練る。 ・伝達のデザインの表現の意図や創造的な工夫を考え見方や感じ方を深める。 ・自分の作品についてプレゼンテーションし、デザインの目的や効果など、伝達の効果について理解を深め、見方を広げる。	
2	・魅力を伝えるパッケージ （表現：デザイン / 鑑賞）		
3			